

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(津幡町)立(津幡小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(本間 嶺)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 「今日のGIGA」コーナーを活用し、授業を日常的に公開したことで、効果的な活用法について職員同士で話し合う場面が数多く見られた。 フォームを活用したミニアンケートを定期的に活用し、提案の微調整や、個別相談へと生かすことができた。 年度当初に、習得すべき技能をレベル分けして提示し、可視化したことで、見直しをもって意欲的に活用しようとする姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 活用が進むことで、紙媒体の方が効果的である場面や、ねらいに到達できていない授業があることが見えてきた。 情報モラル教育が十分でないままスタートしたこともあり、トラブルや不適切な使用も見られた。 端末の使用により、目線が合わない場面が多くなった。学級経営上の課題として「切り替え」や「メリハリ」の継続的な指導が今後も必要であると考ええる。

校内研修のアイディア

- ・昨年度有効的であった「今日のGIGA」の継続的な取り組み。
- ・タブレットをとにかく使うという「手段が目的化している」場面からの脱却し、学習のねらいの達成のための道具として活用していくために、「効果的な活用場面か」、「デジタル化が必要か」を話し合う研修の場を、学年部ごとの校内研究とからめて設ける。
- ・各学年における、タブレットスキルの到達目標を設定し学年ごとにスキルが向上していく環境を整える。
- ・他市や新採用の向けのchromebook活用方法研修を開き、職員の使用レベルを向上する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・授業者が、学習のねらいを達成するため「道具」として活用できる授業を展開することができる。
- ・授業者が相互に授業を参観することで、タブレット活用の幅を広げることができる。
- ・児童が、自らタブレット進んで活用し、授業で扱うことができる。
- ・児童生徒が授業内で戸惑うことなく使用するスキルを身につけ、使用することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	タブレット利用の基本方針の確認	情報担当	GIGA校内推進リーダー研修1日目(4/25)
5月	【ミニ校内研修】「今日のGIGA」	推進リーダー	GIGA校内推進リーダー研修2日目(5/17)年間計画提出締切
6月	【校内研修】GIGAスクール構想の実現に向けた教員のICT活用指導力強化事業動画撮影 【ミニ校内研修】「今日のGIGA」	推進リーダー 情報担当	
7月	【ミニ校内研修】「今日のGIGA」 1学期の活動による成果と課題、2学期以降の取組みの調整 【ミニ研修】ブロック研でのタブレット活用案提案	推進リーダー	
中間目標	【児童】 低学年…全員が問題なくログインできる。 中学年…クラスルームのmeetに問題なく参加できる。 高学年…ミライシードの機能を理解している	【教師】 ・基本的な操作方法を理解し授業で児童に指示を出すことができる。	
8月	【全体研修】大学教員による研修会	推進リーダー	
9月	【ミニ校内研修】「今日のGIGA」 【ミニ研修】ブロック研でのタブレット活用案提案	推進リーダー 情報担当	GIGA校内推進リーダー研修3日目(9/13)
10月	【ミニ校内研修】「今日のGIGA」 【全体研修】公開研に向けた校内事前研	推進リーダー 情報担当	
11月	【ミニ校内研修】「今日のGIGA」 【公開研】11月25日「令和4年度GIGAスクール構想の実現に向けた教員のICT活用指導力強化事業 公開授業研究会」5年山村教諭	推進リーダー 情報担当 研究主任	
12月	【ミニ校内研修】「今日のGIGA」 【ミニ研修】ブロック研でのタブレット活用案提案		
中間目標	【児童】 低学年…手書き機能やキーボードを活用して文字を入力できる。 中学年…班活動などの場面でタブレットを活用して話し合うことができる。 高学年…自分の発表資料をタブレットで準備し、プレゼンすることができる。	【教師】 ・教科や単元ごとにおけるタブレット活用の有用性について話し合うことができる。	
1月	【ミニ校内研修】「今日のGIGA」	推進リーダー 情報担当	
2月	【ミニ校内研修】「今日のGIGA」	推進リーダー 情報担当	
3月	【全体研修】今年度の活動の振り返りと来年度のめあてについて	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(津幡町)立(太白台)学校

GIGA校内研修推進リーダー(杉本 真彦・岡本 賢志郎)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・Googleミートを使用し、分散型の学校集会を行い、コロナ対策になった。(5月から) ・学校アンケート(教職員、保護者、児童)をGoogleフォームで回答できるようにしたことで、業務改善につながった。 ・全教職員が学習支援ソフトの具体的な活用例を研修し、2学期からの授業に取り入れることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全員がクロームブックを有効に活用する段階に至っていない。 ・児童の文字入力速度に差がある。ローマ字入力やタイピング練習を今後も続けていく必要がある。 ・児童のネチケットやマナーの向上が必要 ・休憩時間等で学習以外の用途で使用する児童が何名かいた。使用ルール作りを進めていく必要がある。

校内研修のアイデア

- ・Chromebookの基本的な使い方の研修を行い、先生方が積極的に使えるようにしていく。
- ・ICTサポーターと連携し、ミライシードの授業での活用方法を提案していく。
- ・GIGAサポートを要請し、具体的な活用法を学び、視野を広げられるようにしていく。
- ・3学期にどのような授業でChromebookの活用が行えたのかを実践報告し、意見交流を行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・動画や画像などのデジタルコンテンツを拡大・縮小、再生、画面への書き込み等を活用し、児童自身の学習意欲を高めていく。
- ・児童が疑問や課題に対し、自分に合った進度で学習したり、調べたりすることができる。
- ・児童同士が意見交換や発表などを通じて、思考力、判断力、表現力などを育てていく。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	クロームブックを効果的に活用する授業について どのような場面で使うとより効果的か[講話・意見交流]	リーダー	クラブPR 委員会活動 なかよし組織会
5月	体験学習等におけるクロームブックの効果的な活用について [講話・実践事例交流]	リーダー	6年体験学習 5年体験学習
6月	新体カテストにおけるクロームブックの活用について [講話・実践事例交流]	リーダー 体育担当	新体カテスト
7月	クラスルームを活用したオンライン授業及び動画配信 [講話・実践]	リーダー	
中間 目標	Chromebookの基本的な操作及び、オンライン授業の配信ができるようにする。		
8月	ミライシード オクリンク、ムーヴノートの効果的な活用方法 [ICTサポーターによる講話・実践]	ICTサポーター	
9月	委員会・運動会での活用方法について	リーダー 特別活動 チーフ	運動会
10月	GoogleChromeを使用しての共同編集について [講話・実践]	リーダー ICTサポーター	後期委員会発足 代表委員会
11月	音楽集会におけるクロームブックの効果的な活用について [講話・実践事例交流]	リーダー	音楽集会
12月	GoogleChrome Jamboardの使い方、クラスルームとの連携方法	リーダー	
中間 目標	GoogleChromeやミライシードを使用して、共同編集機能を用いた成果物を作成する。		
1月	共同編集機能を用いた成果物の交流 [事例交流]	リーダー	
2月	6年生を送る会におけるクロームブックの効果的な活用について [講話・実践事例交流]	リーダー	6年生を送る会
3月	1人1台端末を効果的に活用した授業づくり実践報告会 1人1台端末を効果的に活用した授業づくり実践報告及び来年度の 方向性協議	リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(津幡町)立(中条小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(瀬川 敬介)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 8割の教員が2日に1回以上端末を使用できている。 ・ 児童も教師も、端末を使いたい時にすぐ端末が使える環境が整った。 ・ 2日に1回以上の端末活用が児童の端末活用力向上につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の展開場面における「考えを深めるための活用」には未だ至っていない。 ・ 児童が使用する時のルール・マナーが徹底されていない。

校内研修のアイデア

◎研究主題「自ら考え、共に認め合う子の育成」に向け、思いを行き交わせ、学びを実感させるための効果的なICTの活用法や教員のスキル向上について、校内OJTを充実させていく。

- ・ ICTサポートを活用して効果的なICT活用方法の事例について紹介する。
- ・ 若プロで授業実践例を紹介し合う。
- ・ 朝学習で、児童に思考ツールを使った話し合いの場面を選定し、端末を活用することの利点を児童自身に実感させる。
- ・ 教員の現在の悩みを基に大学教員を招聘し、効果的な活用に向けた本校の課題克服を図るとともに、教員の実践の幅を広げる。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【教員】
 ①教師が児童の実態を把握するために、「オクリンク」「ムーブノート」「ジャムボード」などの機能を扱うことができる。
 ②教師が児童の思考を促すために、「オクリンク」「ムーブノート」「ジャムボード」などの機能を扱うことができる。

【児童】
 ①全児童が校内の1人1台端末の使用ルールを守ることができる。
 ②全児童が「オクリンク」「ムーブノート」「ジャムボード」などの機能を扱うことができる。

月	全体研修	若プロ	研究授業	朝学習
4月	・クロームブックの機能について ・GIGAスクール構想の共通理解			
5月	・効果的なICTの活用方法について①見取りの場面でのICT活用事例	・授業の実践例紹介	・全体研提案授業	
6月	・5年理科本時のねらい達成に向けた効果的な活用方法の検討	・授業の実践例紹介	・全体研(高) ・ブロック研(低・中・高)	
7月	・効果的なICTの活用方法について②学びを深める教師の働きかけでのICT活用事例	・授業の実践例紹介	・ブロック研(中)	
中間目標 使う	【児童】 ・校内の1人1台端末の使用ルールを守って使用している。 ・「オクリンク」「ムーブノート」「ジャムボード」などの機能を効果的に使った授業を1回以上経験する。		【教員】 ・1週間の内に4回以上は児童と共にクロームブックの端末を使用する。 ・「オクリンク」「ムーブノート」「ジャムボード」などの機能を効果的に使った授業を月に1回以上行う。	
8月	・大学教員による講義 3回			
9月		・授業の実践例紹介	・学校訪問指定授業	・思考ツールを使った話し合い(ジャムボードでペン図)
10月	・公開研究会		・全体研(低) ・ブロック研(中・高)	・思考ツールを使った話し合い(ジャムボードでピラミッドチャート)
11月	・公開研究会を終えて効果的な活用における成果・課題の共有		・ブロック研(低・中・高)	・思考ツールを使った話し合い(ジャムボードでイメージマップ)
12月	・課題克服に向けた実践発表		・ブロック研(高)	・思考ツールを使った話し合い(ジャムボードでペン図)
中間目標 活用する	【児童】 ・校内の1人1台端末の使用ルールを守って使用している。 ・「オクリンク」「ムーブノート」「ジャムボード」などの機能を効果的に使った授業を5回以上経験する。		【教員】 ・1週間の内に4回以上は児童と共にクロームブックの端末を使用する。 ・「オクリンク」「ムーブノート」「ジャムボード」などの機能を効果的に使った授業を月に2回以上行う。	
1月				・思考ツールを使った話し合い(ジャムボードでピラミッドチャート)
2月	1年間の振り返りと次年度に向けて			・思考ツールを使った話し合い(ジャムボードでイメージマップ)
3月				

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(津幡町)立(条南小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(山田、宮田、廣岡)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<p>教師側は2学期末までには、ミライシードのオクリンク(90%)ドリルパーク(94%)、クラスルーム(94%)、カメラ(94%)の活用ができた。Googleスライド(67%)、動画(67%)の活用ができた。</p> <p>ICTサポーターや推進委員などに相談しながら、とにかく使ってみようという意識で取り組むことができた。また、お互いの成功例や失敗例を交流し合うことで、有効な活用例を次年度の教育課程にも残すことができた。</p> <p>児童は「カメラ」「ホワイトボード」「検索サイト」「文書作成」「プレゼン」「表計算」「アンケート機能」のうち低学年は2つ以上、中高学年は3つ以上使用するという目標は達成され、操作にも慣れてきた。</p>	<p>児童は「カメラ」「ホワイトボード」「検索サイト」「文書作成」「プレゼン」「表計算」「アンケート機能」のうちほとんどを体験することができたが、きまりを守って使用するという面は指導を継続する必要がある。</p> <p>教師側は、研修でいろいろな場面での活用方法を知ることができたが、一人で使うまでには至っていない教員もいるので、学年での共通実践が必要である。</p>

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様、ICTサポートを活用した全体研修会とミニ研修会を1か月に1回以上に行い、職員が授業で活用できるような実践紹介や、操作の確認をする。全体研修後、各学年の情報担当と連絡を密に行い、各学年で共通実践できるような声掛けを行う。活用後に実践報告を行い、次につなげるようにする。 ・スマートスクールネットにあるモデル校のICT活用例をみて、授業のイメージをもてるようにする。全体で動画を観る時間をとり、ねらいを達成するための効果的活用について知る。 ・朝学習では、毎週木曜日の朝学習に3、4年生がタイピング練習、金曜日の昼学習に全学年が算数のドリルパークをする。 ・教職員のクラスルームを作成し、連絡・情報共有を行う。全体で使うフォームなどの型を連絡掲示板に貼り、活用してもらう。 ・生活アンケートや学期末のふりかえりなど、アンケートをフォーム形式にし、スプレッドシートを使い、簡単に集計できるようにする。 ・教職員全員が活用できるように、GIGA条南サポートチームを立ち上げて、チームティーチング形式で、授業者のGIGA活用のサポートを行う。 ・児童が安全にクロームブックを活用できるように、情報モラル指導の徹底を行う。学習の目的で使うということは何度も確認する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、子どもたちが自分の考えを深めたり新しい考えに気付いたりするために、ICTを交流の場で活用できるような授業づくりを行うようにする。 ・校内研究授業においてICTを活用した授業を積極的に行い、実践を積み重ねていくようにする。 ・全教員がクロームブック内のアプリの大体の活用方法を理解し、使えるようにする。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	使用するアプリ
4月	クラスルームの作り方、Googlemeetでリモート朝の会の参加方法(GIGA全体研修会)	推進リーダー	Googleクラスルーム、Googleミート、フォーム
5月	ミライシードのオクリンク、ムーブノートの活用事例紹介(GIGA全体研修会) ICTモデル校実践動画視聴	推進リーダー、ICTサポーター	ミライシード(オクリンク、ムーブノート、ドリルパーク)
6月	フォームでの課題やアンケートの作成方法(GIGA全体研修会) 1人1台端末を使った授業の在り方について 4年社会科(提案授業)	推進リーダー	フォーム ジャムボード
7月	ジャムボードを使った思考ツールの実践事例紹介 1学期の実践まとめ 夏休みの宿題の出し方、活用	各学年情報担当	ジャムボード
中間目標	<p>「活用する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロームブック内にあるGoogleアプリやミライシードの性能について知る。 ・各アプリの活用方法を理解し、授業で最低でも1日に1回クロームブックを使った授業をする。 ・家庭学習にクロームブックを使った宿題に取り組む。 		
8月	GIGAスクール構想に向けた取り組み実践例、プログラミング教育の在り方について(講義) GIGAサポート(県教員総合研修センター)	外部講師(金沢星稜大学)	
9月	ミライシードのオクリンク、ムーブノートの実践事例紹介 Googleアプリの紹介(ドキュメント、スプレッドシート、スライド)	推進リーダー	Googleドキュメント、スプレッドシート、スライド
10月	ミライシードのオクリンク、ムーブノートの実践事例紹介	推進リーダー	ミライシード(オクリンク、ムーブノート、ドリルパーク)
11月	各学年実践報告(低・中・高に分かれて実践紹介)	推進リーダー	ミライシード(オクリンク、ムーブノート、ドリルパーク)
12月	2学期の実践まとめ	推進リーダー	
中間目標	<p>「授業実践で高め合う」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通実践で行った活用事例を共有し合い、1人1台端末を活用した教科の学びを深める。 ・クロームブックならではの強みを生かした授業づくりを考える。 ・家庭で学習をする児童に対してのオンライン授業の展開を行う。 		
1月	ビスケット、スクラッチの使い方(GIGA全体研修会) プログラミングの授業実践事例紹介 GIGAサポート(県教員総合研修センター)	推進リーダー、ICTサポーター	ビスケット(体験版)、スクラッチ
2月	プログラミング実践紹介、実践事例集(GIGA全体研修会) 低学年:ビスケット 中高学年:スクラッチ	推進リーダー	
3月	1年間の振り返りと次年度に向けて	推進リーダー	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで研修を進めていくことで、クラスルームやForms等端末の操作に慣れることができた。 ・校内研修は計画に沿って取り組むことができた教師がChromebookの基本的な機能をそれぞれの学年や学級の実態に応じて活用し、図形の面積をどのように求めたかを一部の児童に聞くだけでなく、全員に考えを表現させることができるようになった。 ・どの学年でも様々な教科で端末を活用した授業を行ってきた。それにより、1学期はChromebookは児童にとって「特別なもの」という認識であったが、2学期、3学期と進むにつれ、「学習用具の一つ」として適切に使えるようになってきた。4年生の理科ではデータを入力してグラフを作成し、そこから読み取ったことを話し合わせることもできた。 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的にChromebookを活用した授業が増えてきたが、教員による個人差がある。実践紹介も一部の教員によるものであったため、多様な実践例の蓄積ができたとは言えない。学年会のファイルに記録した実践を計画的に紹介するなど、各学年の活用事例を交流する機会を設け、有効活用した実践を蓄積していきたい。 ・児童の文字入力スキルの個人差が大きい。高学年でもローマ字に苦手意識を持っている児童は手書き入力しており、時間もかかる。タイピング等のスキルトレーニングも今後必要である。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・既実践している教員の実演と演習により、Chromebookの使い方を知り、理解する。 ・2ヶ月スパンで共通で活用する機能を決めて実践を行う。月一回の学年会ではその機能を使ってどのような実践を行ったかを記録する。GIGAリーダーがそれをピックアップし、終礼時に紹介し、全校で実践のアイデアを共有・蓄積する。 ・夏季休業中にICTサポーターを活用してChromebookの活用について研修を行い、2学期以降の実践に生かす。 ・掲示してある週案にChromebookを活用する予定を示し、自由に参観できるようにする。 ・GIGAリーダーが研究授業にて一人1台の端末を活用する。 ・町内の公開研修会に参加したGIGAリーダーが、研修会後にどのような活用を行っていたか紹介する報告会を設ける。(6月以降) ・ヘルプボードを職員室に設置する。適宜そのボードに応じたOJTを希望者で行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> ・全教員は、児童が考えをまとめる際にノートやchromebookの諸機能を選択させることができる。 ・全教員は、カメラ機能やプレゼンテーションソフト、アンケート等を活用して資料を配付したり提示したりすることで、児童に考えをもたせたり表現させたりすることができる。 ・全教員は、週1回以上一人一台端末を使い、意見を集約したり、広げたりすることで、学び合いを支援することができる。 ・全教員は、学習や委員会・クラブ活動の場面でICTを活用する機会をつくっている。 ・児童は考えをもったり表現したりする際に、chromebookを用いることができる。

月	研修テーマ[研修形態]	共通実践で活用する機能	担当	関連する行事等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習用サイト紹介[全員] ・デジタル教科書使用説明会[5, 6年担任] 		GIGAリーダー GIGAリーダー	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度の目標等の確認 ・終礼時実践紹介 ・情報モラル教育に関する研修 	オクリンク	中学年 GIGAリーダー	GIGAリーダー研修
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時実践紹介 		高学年	学校評価アンケート(教員)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時実践紹介 	google classroom	低学年	学校評価アンケート
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年がchromebookを使った授業実践について紹介を行う。 ・授業で「カメラ機能」、「検索サイト」、「アンケート機能」、「プレゼン」、「文章作成」のうち低…1つ 中…2つ 高…3つを使う。 			
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時実践紹介 ・chromebookの活用に関する研修会 	google classroom	級外 ICTサポーター	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時実践紹介 	ムーブノート	中学年	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時実践紹介 		高学年	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時実践紹介 	jamboard	低学年	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時実践紹介 		級外 ICTサポーター	学校評価アンケート
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会やクラブ活動の場面でchromebookの機能を活用させる。 ・授業の場で考えをもったりまとめたりする場面で手書き・chromebookを選ばせる。 ・授業で「カメラ機能」、「検索サイト」、「アンケート機能」、「プレゼン」、「文章作成」のうち低…3つ 中…4つ 高…5つを使う。 			
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時実践紹介 	これまでの活用してきた機能すべて	中学年	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時実践紹介 		高学年	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時実践紹介 		低学年	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(津幡町)立(笠野小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(小川 寛由)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会[全体] 端末操作相談会[個別] 研修報告会(共有)→授業実践[全体]	推進リーダー	4/25(月)GIGA校内研修推進リーダー研修第1日
5月	クロムブックと学習アプリケーションの使い方について[全体] (学習アプリケーション及び授業支援ソフトの活用について) 端末操作相談会[個別] 研修報告会(共有)→授業実践[実践]	推進リーダー	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修第2日 提案授業(6年)
6月	クロムブックと学習アプリケーションの使い方について[全体] (各種アンケートの作成や集計の仕方について) 端末操作相談会[個別]	推進リーダー 杉本	
7月	GIGAフォローアップ研修①[個別] (学習アプリケーションの使用に不安を感じている教員がアプリケーションの活用方法について理解する。) 端末操作相談会[個別]	推進リーダー 浜口	研究授業(1年) 研究授業(あじさい)
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が端末の基本的操作を習得し、週に1回以上授業で活用している。 職員が各種アンケートや職員会議をアプリケーションソフト等を活用しペーパーレス化に努めている。 職員が授業以外の委員会活動やクラブ活動、生活目標、健康チェック等でも児童が必要に応じて端末を活用できるよう準備をする。 		
8月	ICT活用研修[全体] (1学期の成果と2学期への課題共有)	推進リーダー	研究授業(2年) 研究授業(3,4年複式)
9月	GIGAフォローアップ研修②[個別] (学習アプリケーションの使用に不安を感じている教員がアプリケーションの活用方法について理解する。) 端末操作相談会[個別]	推進リーダー 木田	9/13(火)GIGA校内研修推進リーダー研修第3日
10月	効果的なICT活用について[全体] 実践報告[全体]	推進リーダー 河本	
11月	GIGAフォローアップ研修③[個別] (授業での端末活用方法等に不安を感じている教員がその方法について学ぶ。) 端末操作相談会[個別]	推進リーダー 中川	学校訪問 研究授業(5,6年複式)
12月	GIGAフォローアップ研修④[個別] (授業での端末活用方法等に不安を感じている教員がその方法について学ぶ。) 端末操作相談会[個別]	推進リーダー	研究授業(わかたけ)
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が様々なアプリケーションや授業支援ソフトを活用した授業を週に2回以上行っている。 職員がアプリケーションソフト等を用いてデータを共有し、指導に生かしている。 児童は、必要に応じて1日1回は端末を活用している。 		
1月	ICT活用実践共有研修[全体] 端末操作相談会[個別]	推進リーダー	
2月	より効果的なICT活用について[全体] 実践のまとめ[全体] 研修報告会(共有)→授業実践	推進リーダー	2/24(金)GIGA校内研修推進リーダー実践報告書メ
3月	次年度に向けて[全体]	推進リーダー	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 少人数のため、児童に関しては指導がしやすく、教職員に関しては共通実践が行いやすい。 ICTサポートが月2~3回ずつ受けられるため、教職員も児童もわからないことをすぐに尋ねることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレットのアプリケーションソフト等をまだ十分に活用しきれていない。 職員のスキルや児童のスキルの共有が図れていない。

校内研修のアイデア

- 普段の授業でどのように端末を活用しているかを職員朝礼や職員会議等で情報共有する。少人数ゆえにすぐに交流できる利点をいかし、些細なことでも情報共有することで「すぐに使える!」「明日からできそう!」という思いをもってもらえるようにする。
- 学校研究の研究授業の事後研等において端末を活用し、ICT機器を教員自身が効果的に活用する場を増やしていく。
- 長期休業時に実践報告会を行い、失敗例・成功例を報告し合い、効果的な活用方法を探る。
- GIGA担当が適宜、端末操作等に関する相談会を実施し、授業における端末活用のフォローや最新情報を発信する。
- 「情報活用能力育成スキル表」や「情報教育年間指導計画一覧表」を活用し、どの教科のどの単元で端末を用いればより効果的に活用できるか話し合っていく。年度末に修正し、次年度以降も活かせるようにする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 全教職員が様々な場面で1人1台端末を活用した教育活動ができるようにする。授業においては、どの教科・単元で活用すれば、より効果的な活用ができるか「情報活用能力育成スキル表」をもとに、「情報教育年間指導計画一覧表」を年間を通して加除修正しながら授業を進めていく。授業以外の部分では、アンケートや職員会議等のデジタル化を進め、児童と向き合う時間を少しでも多くできるようにしていく。
- 児童が、情報活用能力を身に付けながら、目的に応じてICT機器を活用し、進んで学習に取り組むことができる。

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(津幡町) 立 (英田) 学校

GIGA校内研修推進リーダー(竹田・松井)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・【児童】全ての児童はこの1年間で、タブレットを使うための基本的な技能を身に付けることができています。 ・【児童】タブレット端末に特別感をもつことなく日常的に使うことができています。 ・【児童】感染症予防のために休んでいた児童も、タブレットを通して家庭からも授業に参加することができました。 ・【教員】教員のクラスルームを作成し、情報の共有や文書印刷の削減などの面で業務改善につなげることができました。 ・【教員】教員同士で5分OJTを定期的に行い、操作方法や授業での活用の仕方を学び合うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【児童】タブレットを使用する時にどのように使うと効果的かを考えられるようにする。 ・【教員】タブレット端末を授業のどの場面で使うとよいかを考えて使うようにする。 ・【教員】タブレットの使い方やルールを年度当初に統一できていない部分があった。 ・【教員】授業の中で使うことはできたものの、宿題など家庭学習であまり使うことができなかった。

校内研修のアイデア

①毎週金曜日、5分間OJTの時間をとる(使い方の紹介, 実践の交流)

- ・うまくいかなかった使い方も含め、交流し合い、改善点を話し合うようにする
- ・12月末までに授業を担当する教員が3回の実践報告ができるように計画する
- ・より安全に使うことができるように、機能面の研修を全体で行う

②定期的に活用の仕方を学ぶ研修会を講師の先生を招いて指導していただく

- ・様々な教科で研修を行う
- ・学校での実践から講師の先生に教えていただく

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・学校でさらに特別感なく、日常的にタブレット端末を用いることができるようにする
今年度中に1日一回授業で使う場面があるようにしていく
- ・タブレット端末を使うことでより学びが深まった、「使ってよかった」と言えるような効果的な授業実践を積み重ねていく
- ・家庭学習においてもより効果的なタブレット端末の使い方を模索し、効果的な使い方を実践していく

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	【全体研修1】 【全体研修2】 【5分OJT】毎週金曜日に実施 使い方, 実践報告	推進 チーム	
5月	【全体研修3】タブレットを使った授業づくり① 【5分OJT】	推進 チーム	
6月	【全体研修4】公開授業 【5分OJT】	担当学年を 決めて実施	
7月	【5分OJT】	担当学年を 決めて実施	
中間 目標	一人週に1回はタブレット端末を使った授業をする OJT研修で一人1回の実践報告		
8月	【全体研修5】実践報告会 【個人研修】1人1実践を準備 【5分OJT】	担当学年を 決めて実施	
9月	【全体研修6】公開授業, ふり返り 【5分OJT】授業での活用	担当学年を 決めて実施	
10月	【5分OJT】授業での活用	担当学年を 決めて実施	
11月	【全体研修7】実践報告会 【5分OJT】授業での活用	担当学年を 決めて実施	
12月	【5分OJT】2学期のふり返り, 3学期に向けての活用の仕方	担当学年を 決めて実施	
中間 目標	週に2回以上授業で活用する OJT研修で1人2回の実践報告		
1月	【全体研修8】実践報告会(部会から1人) 【5分OJT】授業での活用	担当学年を 決めて実施	
2月	【5分OJT】授業での活用	担当学年を 決めて実施	
3月	【5分OJT】授業での活用	推進 チーム	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(津幡町)立(刈安小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(林 由佳)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<p>小規模校のよさである共通理解・共通実践がしやすいところを生かし、全校での活用の取組として進めることができた。ICTサポートの受けやすさから、児童は全学年で個別のスライド作りができた。アンケートに答えたりすることができた。教師もサポートを受けながら学ぶことができ、個々のスキルアップを図ることができた。一方で、小規模の課題である「協働的な学び」へ向けて、外の世界とつながる取組を進めることができた。さらに、オンラインを活用した交流・授業を進めることができた。一定の成果をあげることができた。</p> <p>計画的に研修を行い、教師と児童のスキルアップに努めたため、コロナ禍におけるやむを得ない出席停止に対して、即オンライン授業を実施できたことがよかった。</p>	<p>まずはやってみるという体験から一歩進んで、効果的な活用の模索を進めていかなくてはならない。そのためには、活用の実践を蓄積する必要があるが、いかに効率よく、負担を少なく、実践を次につなげるための使える資料として残していくのか検討していく必要がある。また、学校全体での目標を掲げているが、より具体的に、学年ごとに身に付けておきたいスキルやめざす姿を設定し、系統立ててICT活用スキルを伸ばしていきたいと感じている。学校によって活用の度合いや活用方法は様々だと聞いている。本校児童が大規模中学校へ進学することをふまえ、近隣小学校や中学校と情報交換を密にし、必要なスキルの習得、先を見据えた指導を考えていきたい。</p>

校内研修のアイデア

効果的な活用法や学びの蓄積のために、ICTサポーターに積極的に授業参観をしていただく。授業の中で見えそうな場面を模索したり、活用した場面が効果的であったのかを検討し、記録に残していく。学期ごとに実践交流会を行い、全員で活用場面を交流する。一方的な講義とならないよう、実際に授業で使う場面を想定し、模擬授業形式で手順を学ぶ機会をつくる。児童役と教師役を設定し、教師の動きと児童がすることをセットで学べるようにしていく。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

低・中・高で目標設定を行う。

低：校内で自分たちが学習したことをchromebook(オクリンク)を使って発表することができる。

校内のオンライン活動(Googlemeet)で適切な話し方、聞き方ができる。

中：Googleスライドでプレゼンを作り、校内だけでなく、校外にも発表する。発表型のオンライン交流を行い、遠隔独特の話し方や聞き方を身に付けることができる。オンライン上の初めての相手にも、感想を伝えることができる。情報検索ができるようになる。

高：オンライン授業で思考のやり取りができるようになる。初めての相手でも、自由に質疑応答できるようになる。ジャムボードの活用やクラスルーム上のやり取りができるようになる。自分の必要性に応じて、図書等他の手段と使い分けた活用をすることができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	全体研修 令和4年度のGIGAの目標について クラスルーム入室(3~6年) ミライシードドリルパークの実施	特活担当 推進リーダー	春の3校交流遠足 オンライン打合せ
5月	GIGAスクール特別講座視聴 Googleフォームアンケート回答5・6年 3校オンライン打合せ参観	推進リーダー	宿泊体験学習 オンライン打合せ
6月	全体研修:オクリンクのワークシートをつくろう 学校訪問chromebook活用授業事前検討会 クラスルーム入室(1年)	各担任	学校訪問
7月	全校Googlemeet練習(1~6年) ラジオ体操カード(スプレッドシート)入力練習 Googleフォームによる学力向上プラン報告	各担任 推進リーダー	運動会
中間 目標	ミライシード(ドリルパーク・オクリンク)を活用することができる。 Googlemeetを使うことができる。		
8月	一学期実践交流会 ミライシードムーブノートの使い方 模擬授業形式	各担任 推進リーダー	
9月	9月13日研修報告会	推進リーダー	
10月	国語科話す・聞く単元による遠隔交流授業(1~4年) 遠隔合同授業(5・6年)	各担任	
11月	収穫感謝会の発表資料づくり(オクリンク・スライド)	各担任	収穫感謝祭
12月	二学期実践交流会 Googleフォームによる学力向上プラン報告	各担任 推進リーダー	
中間 目標	ミライシード(ムーブノート)を活用することができる。 児童がオクリンクやスライドを作り、調べたことや考えたことを発表することができる。		
1月	オーダーメイド型 個別スキルアップ研修	情報担当 ICTサポーター	
2月	先進校実践事例視聴会		6年生を送る会
3月	三学期実践交流会 今年度の成果・課題 Googleフォームによる学力向上プラン報告	各担任 推進リーダー	